

様式第1号(第9条関係・第12条関係)

鉛筆や消せるボールペンは不可です。ご注意下さい。

●● 年●月●日

社会福祉法人 名張市社会福祉協議会
会長 ●●●● 様

団体名 ふれあい・いきいきサロン
代表者氏名 ふれあい 太郎

●●年度 地域福祉活動助成申請書

助成事業名	地域見守り 事業	〔 区分 2 活動 〕
年間活動回数	12回	→ 様式2号の活動回数と同じか確認
助成金申込額	30,000円	→ 別表の区分と申請額が同じか確認(減額申請でもOK)

※必ずボールペンなど(鉛筆や消せるボールペンは不可)で記入してください

添付資料

- (1) 事業計画書(様式第2号) ※代用可
- (2) 収支予算書(様式第3号) ※代用可
- (3) 備品購入見積書、備品のカタログ ※福祉活動備品整備事業のみ
- (4) 振込先預貯金通帳の写し(表紙及び見開き1, 2ページ)

金融機関名・支店名・預貯金の種類・口座番号・口座名義(フリガナ)のわかるページ

申請団体ではなく、協働団体による記入をお願いします。

※団体名義の口座を振込先に指定できない場合のみ、下記に協働団体による記入をお願いします。
本組織(団体)は、上記団体と協働・連携(支援)をしております。上記団体が団体名義の預金口座を振込先に指定できないため、貴会から本組織(団体)名義の預金口座へ振り込まれた助成金については、本組織(団体)より上記団体へ渡すことに同意します。

年 月 日 組織(団体)名

代表者氏名

通帳の表と内側の口座名等記載ページをコピーしてください。

受付印

様式第2号(第9条関係)

第3条(1)(2)(3)(4)(6)(7)(8)(9)用

●●年度事業計画書

団体名 ふれあい・いきいきサロン

日時	内容	場所	備考
4月 12日 19日	お花見スタッフ打合せ サロン開催 お花見を実施予定	●●集会所 ●●公園(津市)	
5月 17日	サロン開催 健康体操を実施予定	●●集会所	
6月 21日	サロン開催 お弁当をたべながら茶話会を実施予定	●●集会所	
7月 19日	サロン開催 小物づくりを実施予定	●●集会所	
8月 2日	サロン開催 夏休み中に子ども達との交流として流しそうめんを実施予定	未定	
9月 20日	サロン開催 お団子づくりを実施予定		
10月 18日	サロン開催 共同募金運動に参加		サロンの場合 ・市外の活動 対象内 ・会議、自助活動、総会、研修 対象外 ・スタッフのみの準備 対象外
11月 15日	サロン開催 健康予防について く、茶話会を実施予定		ボランティアの場合 ・市外の活動 対象外 ・会議、自助活動、総会、研修 対象外 ・準備、練習 対象内
12月 20日	サロン開催 クリスマス会を実施		
1月 12日	実施予定		当事者の場合 ・準備、会議、自助活動 対象内 ・市外の活動、研修 対象外
2月 21日	折ったり、茶		
3月 21日	観劇を実施		配食の場合 ・対象者数と配食数が同じであるかご確認下さい。

区分と回数が合っているかご確認下さい。
区分1 24回以上
区分2 12回以上
区分3 6回以上
区分4 6回未満

※ 各団体

る事業計画書

歳末たすけあい申請額	
サロン	5,000 円
ボランティア	0 円
配食	50,000 円
当事者	30,000 円

様式第3号(第9条関係)

第3条(1)(2)(3)(4)(6)(7)(8)(9)用

●●年度 収 入 予 算 書

名 ふれあいいきいきサロン

収入の部

単位：円

項 目	予 算 額	積算内訳 (なるべく詳細に記入)
助成金	30,000	名張市社協 地域福祉活動助成事業 (申請額)
助成金	5,000	名張市社協 歳末たすけあい運動配分事業(申請額)
㊦前年度繰越金	15,000	
①参加費	24,000	
弁当代	30,000	
地域内助成金	30,000	
雑収入	1,000	
㊦合計	135,000	

㊦前年度繰越金が、㊦合計の 1/3 以内か確認下さい。

①自主財源があるか
ご確認下さい。

支出の部

単位：円

項 目	予 算 額	積算内訳 (なるべく詳細に記入)
弁当代	39,000	500円×26人×3回
茶菓子代	26,000	
印刷代	5,000	案内、資料等印刷
イベント代	51,500	クリスマス会、子ども達との交流会等
謝礼金	10,000	講師謝礼等
集会所使用料	3,000	
諸会費	500	社協会費
㊦合計	135,000	

収入と支出の㊦合計が
同じ金額かご確認下さい。

※ 助成対象事業実施にかかる収支予算を記入してください。

※ 各団体・グループで使用している収支予算書があれば代用可。

◆ 予算書要件 (確認して□に✓を入れてください。要件が満たされていないと受理することができません)

□ 「収入の㊦合計」と「支出の㊦合計」が同じ金額になっている。

□ 「①自主財源」がある。

□ 「㊦前年度繰越金」が「㊦合計」の 1/3 以内になっている。